



令和5年7月20日

夏休み号 No.448

発行責任者

校長 湊 仁

所在地 福生市熊川 623

## 夏休みならではの体験を！

校長 湊 仁

早いもので72日間あった1学期が今日、終業式を迎えました。コロナが5類に移行し、大きな制約が緩和したことによって5月からは、日光移動教室や遠足、社会科見学、地域探検などの校外学習や、熊川分水や稲作など、地域の方の協力による授業も積極的に行われ、多くの教育活動が活発にできるようになりました。また、子ども達の縦割り班活動や交流学习も会話がはずみ、仲良く取り組む姿が多く見られました。これも、保護者、地域の皆様のあたたかいご支援・ご協力の成果のお陰だと思います。本当にありがとうございました。

### ◆夏休み比べ◆

いよいよ明日からは子ども達が楽しみにしていた夏休みに入ります。わたしが子どもの頃、(もう半世紀も昔のことにはなりますが…)夏休みの一番の思い出といえば、毎朝のラジオ体操と公営プールに行き泳いだこと、そして、虫捕り網をもって、セミやアゲハ蝶を捕ったことでしょうか。特にラジオ体操は、出席のスタンプを押してもらったカードを首からひもでぶら下げて、皆勤賞だと、お菓子がたくさん詰まった袋がもらえるので、眠たい目をこすりながら1日も休まずに参加したのを覚えています。私の親は仕事が忙しく、家族旅行といえば、お盆の頃に田舎に行くことがたまにあった程度でした。家族ではなく、町会の子供会があり、近所の子ども達と一



緒に、キャンプに行くなどもありました。夜には盆踊りがあって、出店で綿菓子や水あめを買ってもらい食べられるのが楽しみでした。

今の子供達と比べると、夏休みの過ごし方は随分変わりました。今は、温暖化の影響もあるのでしょうか、熱中症の他に、ゲリラ豪雨、台風といった風水害もよく聞かれるようになりました。また、パソコンや携帯、通信用ゲームなどというものが生活の大半を占めています。何よりも学習用 iPad も加わり、学び方も遊び方も変わりました。

### <夏休みならではの体験を！>

さて、今年は久しぶりにコロナの制約がなく、夏休みに旅行、レジャーやイベントなど、いろいろ計画を立てているご家庭も多いかと思います。せっかくの夏休みです。夏休みならではのことを見つけて、ゆっくり時間をかけてチャレンジしてみましょう。市営のプール、地域のイベント、児童館や図書館、学校の未来塾や夏季水泳や図書室開放、読書などにもチャレンジしてほしいと思います。

やらなければいけない宿題を計画的に、早く済ませて、自分が自由に使える時間を沢山もって欲しいですね。

そのためにも未来塾はお勧めです。友達と一緒にやれるという雰囲気が意欲や集中力を生みます。

これまでの3年間は、何かと我慢を強いられた夏休みでした。その分を取り戻すように思い切り、普段できないことにチャレンジして、よい思い出を作してほしいと思います。無茶なことや危険なことは絶対にやめましょう。2学期の始業式には、元気でたくましくなった姿を見せてください。楽しみにしています。

